



新市政会 櫻田 基介 議員

予算縮減に向けた 市内公共施設の整備

問 市役所庁舎など、公共施設へのLED照明および太陽光発電設備の導入状況を伺います。

答 総務部長 主な公共施設の状況として、市役所本庁舎のLED照明導入率は67・4%です。保育施設では、すべての照明がLED化されている施設がある一方、順次設備改修を行っている施設の導入率は約30%となっています。

太陽光発電設備は、市役所本庁舎、松尾出張所、山武出張所が導入済みです。

答 教育部長 日向小学校と松尾小学校はすべてLED化されており、その他の学校は順次転換を進めています。

太陽光発電設備は、全小中学校15校に導入済みです。

問 公共施設の維持管理コスト削減のための、計画的な整備の必要性について、市の見解を伺います。

答 総務部長 施設の大規模改修

などに併せて維持管理コスト削減のための整備を実施することを基本に、国からの交付金などの財源をできる限り活用することにより、整備コストの低減に努めます。

なお、現在改築中の学校給食センターは、再生可能エネルギーや省エネルギー性能の高い公共施設として整備する予定です。

県道整備

問 県道飯岡片貝線の木戸岡共同利用施設付近の道路は、橋の架け替えにより大きくカーブする路線となりました。見通しも悪く、地元からも要望が出されていますが、現在の状況を伺います。

答 建設環境部長 少なくとも平成16年から毎年、要望書を提出していますが、現時点において、木戸岡共同利用施設付近の整備の事業化の予定はないと、県から聞いています。

問 松ヶ谷地先の他の県道では、長年拡張できなかった場所が整備されました。この木戸岡共同利用施設付近の道路も、一刻も早い整備が望まれますが、市の見解を伺います。

答 建設環境部長 交通量が多く、見通しの悪いカーブであることは十分把握しており、早期事業着手に向けた要望活動を継続して行うとともに、県と連携して進めたいと考えます。



新市政会 わたなべ 聡 議員

防災機能を持つ公園の整備

問 市長が重点施策として掲げる「防災拠点の再整備」の方針を伺います。

答 市長 昨今の地震の多発やゲリラ豪雨の頻発等の災害は、身近に迫る脅威であり、災害への備えは行政の重要な事業であると認識しています。

令和元年房総半島台風では、市内各地で甚大な被害が発生し、特に山武地区は約2週間に及ぶ停電により、多くの方が、さんぶの森中央会館やあららぎ館で長期の避難生活を送りました。

このような経験から、当初はさんぶの森を中心に、その後、各地域の防災機能の強化を図っていきたいと考えます。

問 防災機能を持つ公園として、さんぶの森公園を整備するにあたり、その具体的な整備内容を伺います。

答 総務部長 さんぶの森公園の既存の施設を活かしつつ、さんぶの森中央会館を中心に避難所としての機能

拡充を図っていきます。

停電対策を第一に考え、避難所内の照明や空調、トイレの使用、携帯電話の充電等ができるよう発電機器の設置を予定しており、今年度末までの設置を目指しています。

なお、整備にかかる財源は、緊急防災・減災事業債を活用する予定です。

問 災害時、職員のための避難所運営には限界があると思いますが、市の見解を伺います。

答 総務部長 災害発災当初の段階では、職員が避難所の開設・運営をすることになりますが、時間が経過し、復旧復興業務に職員が従事する段階には、地域の方を中心に避難所運営委員会を設立し、運営していただくこととなります。

現在、設立に向けて検討中の地域もあり、市としても積極的に支援していきます。

問 避難支援が必要となる高齢者等も多いと思いますが、このような方を対象とした避難対策を伺います。

答 総務部長 避難行動要支援者名簿に登録されている方の中から個別避難計画作成の対象者を絞り込み、介護支援相談員と連携のうえ、令和7年度中の当該計画作成を目指しています。
【その他の質問】▼作田川流域河川の改修▼AEDの設置補助制度▼認知症施策